

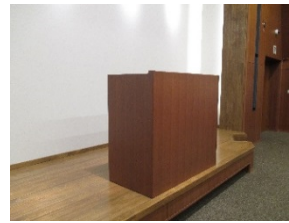
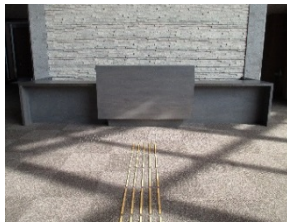
↑外観写真(公式HPより)

高崎市綿貫町の「群馬の森」施設内にある県立歴史博物館様が、今年7月にリニューアルオープンいたしました。同館は施設の老朽化が進んでいた為、約2年をかけての全面改修となりました。改修後は新たな企画展示も充実し、大人から子供まで親しみやすく、より魅力ある博物館へ生まれ変わりました。

最大の目玉は、全国有数の古墳大国群馬をアピールしようと新設された「東国古墳文化展示室」です。温室管理を徹底し、収蔵庫と同じ保存状態を保てるようにした為、重要文化財の展示が無期限で可能との事。貴重な歴史の記録を間近で見ることが出来ます。

志 県立歴史博物館改修工事が完成いたしました

設計：株式会社日本設計 様
施工：佐田,神宮,昭和,特定建設工事共同企業体 様



収蔵庫・積層棚移設 改修工事

既存の棚を解体してから、下地組みし、改造後に移設再取付いたしました。内装仕上げ工事まで行った為、長い工事期間となりました。

舞台

舞台上に設置した演台は取外しができ、移動式です。本体に使用したマコーレ突板は、色の濃淡による美しい木目縞が特徴的です。

視聴覚室椅子工事

コトブキの固定式視覚席を納めました。床仕上げの取付の為、施工監理に細心の注意を払いました。落ち着いた内装の中で、鮮やかな色合いが目を引きまします。

受付カウンター

正面から見るとシンプルなデザインですが、シナ共芯合板を使用した、内照式配線機能付きのカウンターです。艶なしの着色が内装と合い、調和がとれています。

各室サイン工事

案内板から、各室の名札・ゲートサインにいたるまで納入いたしました。来館時には是非ご利用下さい。

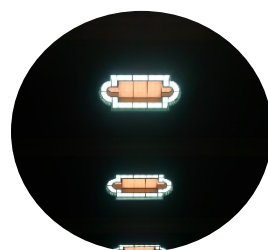


弊社では上記備品及び付随する各工事を納入いたしました。当初からメーカーと協力して進める事で、造作家具を始めサイン、バックヤードの収蔵庫に至るまで行うことができました。大勢の人に利用される施設計画の一端を任せて頂いたのは、非常に光栄な事です。オープンイベントとして、7月末までは観覧料が無料になるとの事。この機会に新たな歴史の発見に出掛けてみてはいかがでしょうか。

式

群馬会館改修工事が 完成いたしました

設計…株式会社石井設計 様
施工…佐田建設株式会社 様



照明カバー

照明器具は創建当初のものを再利用し、ガラスだった部分は安全性を配慮してアクリル板としています。蛍光灯はLEDライトに更新しています。

↓外観写真(公式HPより)



ホール椅子移設工事

客席は、既存椅子を撤去の後保管し、床仕上げに再取付いたしました。床は時代背景から、朱色のカーペットを再現しています。椅子の淡い張地との対比が印象的です。

ホール内装仕上工事

特注飾り、腰壁等の仕上工事をいたしました。天井の化粧梁は、創建当初のオリジナルデザインを再現。腰壁のデザインは、設計者である佐藤功一博士が多く用いていた「羽目板意匠」としています。

ステージ幕工事

森平舞台の舞台装置設備の更新を行いました。ステージ上のプロセニアムアーチ内側の装飾は、中国製のMDF材に、創建当初の葡萄のレリーフを模写した彫刻となっています。

展示ケース・サイン

当初に提案依頼を頂き、日本ファイリングの展示ケースが採用となりました。併せて展示コーナーのサイン工事も行いました。



椅子の解体に始まり仕上工事まで、短い工期の中で仕事をさせて頂きました。現在必要とされる機能を満たしながら、創建当初のデザインが守られたこの建物は、今後も永く人々に親しまれていくことでしょう。

ちょっと一息



ポケモン世代である自身も早速ダウンロードして遊んでみましたが、位置情報と連動して画面の中自分が歩いたり、突然ポケモンが飛び出してきたりする様子は新鮮で面白いと思いました。社内でも何処にピカチュウが出る等と話題になっていて、年代性別問わず人気が出ています。

ニュースでは色々なアイテムが手に入るポケストップと呼ばれる場所に、昼夜に渡り人の波が出来る規制されるなど、最早社会現象となっています。

歩きスマホによる事故も懸念されていますが、一方で外出する機会が増えた運動代わりになって良いという声も上がっているようです。今回紹介した歴史博物館がある群馬の森もポケストップになっただけで、スマホ片手に出掛けてみてはいかがでしょうか。

編集後記



今回は改修工事特集でした。まだまだ紹介していきますので、次号も宜しくお願いします。